

# うない通信

国立大学法人 琉球大学 うない研究者支援センター ニュースレター Vol.5 2014年3月発行

## 第2回 男女共同参画トップセミナーを開催しました

平成26年1月28日(火)、大学本部第一会議室において、学長をはじめ、理事や部局長、事務長など約60人が参加し、第2回男女共同参画トップセミナーを開催しました。本セミナーは、大学運営に関わる管理職員等を対象に、女性研究者の育成に係る支援策の充実及び女性研究者の採用数の増加に向けた取組を積極的に推進することを目的として企画されました。

第2回目となる今回は、独立行政法人科学技術振興機構の科学技術システム改革事業プログラム主管である山村康子氏を講師としてお招きし、「女性研究者支援・育成の現状と今後の展開」と題してご講演いただきました。



セミナーでは、まず初めに学長から、「本学は平成24年度に文部科学省科学技術人材育成費補助事業“女性研究者研究活動支援事業”に採択され、子育てや介護と研究を両立できるよう支援する取り組みを実施している。平成23年度に制定した男女共同参画推進に関するアクションプランでは、平成27年度末までに女性教員の在職比率を17%とする数値目標値を掲げているが、現在のところ、自然科学系分野においては著しく低い数値となっている。次世代を担う研究者育成という本学が果たすべき使命において、各部署の皆様にはご理解とご協力をいただきたい」と挨拶がありました。

続いて、講師の山村氏から、文科省による女性研究者支援・育成事業の背景として、日本の大学等の高等教育機関における女性教員や博士後期課程に進学する女子学生の比率が欧米の先進諸国と比べて著しく低い点について指摘があり、文科省は4期に及ぶ科学技術基本計画に基づいて、女性研究者の採用促進と人材育成のための女性研究者支援・育成を目的とした施策を実施していることをお話されました。これらの事業に採択された全国

の先行大学による離職抑制や復職支援の事例として、裁量労働制や短時間勤務制度等の柔軟な勤務体制の構築や保育施設の整備、パートナーとの同居支援などについて紹介されました。また、このような環境整備と同時に、積極的な女性研究者の採用促進のためのポジティブアクションの有効性についてお話されました。最後に、特に自然科学系分野における女性研究者比率が10%以下という本学において、このような状況を改善することが喫緊の課題であると厳しい指摘がありました。女性研究者の活躍促進は、男女共同参画を推進するだけでなく、多様な人材を活かすことができるダイバシティ社会を実現することであり、このような姿勢を教育・研究機関である大学が地域社会に示すことは重要であるとお話されました。

最後に、花城梨枝子男女共同参画室長から、「ご参加いただいた皆様にも、本日を契機に今後も本学における男女共同参画、そして女性研究者支援事業をよりいっそう推進するためにもご協力いただきたい」と挨拶があり、盛況のうちに閉会しました。



## 平成25年度研究補助員配置制度

平成24年11月より、出産・育児または介護等に携わる研究者に対し、研究時間を確保し、研究活動の活性化を促進するために、研究補助員を配置する「研究補助員配置制度」を実施しています。また、本制度を利用する教員は、研究支援を行う研究補助員に対し、ワーク・ライフ・バランスを踏まえた自らの研究やキャリア形成を考える手助けとなるよう監督・指導をおこない、次世代の研究者を育成しています。

平成25年度は、第一期23名、第2期29名の研究者が本制度を利用し、前年度の19名よりも利用者が増加しています。また、今年度は第1期37名、第2期45名の研究補助員が配置されています。

平成25年度研究補助員配置制度利用者数の内訳(人数)

性別	第一期(4月～9月)		第二期(10月～2月)	
	育児・妊娠	介護・看護	育児・妊娠	介護・看護
男性	5	0	5	0
女性	13	5	15	9
小計	18	5	20	9
総計	23		29	

※研究補助員 第一期 37名、第二期 45名

## 研究補助員配置制度を利用して ●留学生センター 佐々木 香代子 准教授



「大ちゃんプロジェクト」は、知的障害を持っている子どもたちのための教材開発プロジェクトで、現在、子どもたちの言語獲得をサポートするための絵教材を開発しています。知的障害児の療育に関わる人たちが誰でも自由に使えるようにすることを目標に、日常生活場面での行動の流れに沿って言葉を提示できるように絵教材を作成しています。

絵教材の絵は、人間の体の動きや向きが自然で、なお且つ子どもにも親しみやすい絵でなければなりません。何よりも、「知的障害を持っている子どもがその絵をどのように解釈するか」ということを私と一緒に考え、それを反映した絵を描いてくださる方が必要でした。そのためには、それなりの能力、キャリアが必要になってきます。この制度のおかげで、美術を専門とする研究補助員に協力していただけることができ、作成した絵教材のHP公開にこぎつけることができました。



### 「大ちゃんプロジェクト」

<http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~daisukes/index.html>

佐々木先生のキャリアパスについては、下記で紹介している『琉球大学のフロントランナーたち：女性研究者編』の中でも特集しています。ぜひご一読ください。

## BOOK フロントランナー集を発行しました!

本学で活躍される女性研究者の方を特集した『琉球大学のフロントランナーたち：女性研究者編』を刊行いたしました。学生へのあたたかな、そして力強いメッセージが込められた冊子となりました。冊子は当センターで配布しておりますので、お気軽にお問い合わせください。



## 国立大学法人 琉球大学 うない研究者支援センター

University of the Ryukyus  
Unai Center for Researcher Support and Development

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 大学本部1階  
TEL:098-895-8675 FAX:098-895-8732  
E-mail:gender@to.jim.u-ryukyu.ac.jp  
URL:http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/unai/





平成25年

11月

平成26年

2月

の主な活動報告



## 第1回 うないキャリアデザインセミナー 平成25年11月6日

### 「私のシナリオ設計 ～自分自身を幸せにするゴールの作り方～」

キャリアパス支援の一環として、学部学生及び大学院学生を対象に、「第1回 うないキャリアデザインセミナー」を開催しました。

今回は、ゲストスピーカーとして、県出身で、現在米国ハリウッドで活躍中の宮国訪香子氏(ライター・プロデューサー)を迎え、学生ら47名が参加しました。



## 第5回 スキルアップセミナー 平成25年11月29日

### 「英語学術論文を読みこなそう!」

スキルアップ支援の一環として、川上輪子氏(リンクサイエンス)を講師に迎え、第5回スキルアップセミナー「英語学術論文を読みこなそう!」を開催しました。本セミナーは、英語学術論文を読みこなすコツの習得を目的に実施し、25名の教員や大学院学生、学部学生が参加しました。



## 第6回 スキルアップセミナー 平成25年11月30日、12月1日

### 「集中講座 採択される英語論文の書き方」

第5回スキルアップセミナーに引き続き、川上輪子氏(リンクサイエンス)を講師に迎え、第6回スキルアップセミナー「集中講座:採択される英語論文の書き方」を開催しました。

本セミナーは、国際的な活躍を目指す研究者の英語運用能力の向上を目的に実施し、10名の教員や大学院学生が参加しました。1日目は、英語論文の書き方について、講義と問題演習などを通し、実践的なセミナーを行いました。2日目には、事前に受講生が提出した英語論文要旨について個別指導を行いました。セミナー開催中は、育児との両立支援の一環として託児ルームを開設し、6名のお子様をお預かりしました。



## 第1回 メンターワークショップ 平成25年12月9日

当センターが相談体制として実施しているメンター制度をより機能的に運営するため、メンターを対象に、「第1回メンターワークショップ」を開催しました。今回は、本学の保健管理センター所長である古川卓教授を講師に迎え、メンタリングに必要な基礎知識や方法論を学びました。

## 平成25年度男女共同参画講演会 in 国頭 平成26年1月11日



沖縄県環境生活部平和・男女共同参画課と国頭村との共催で小学校高学年の児童とその保護者を対象とした講演会を開催しました。

第一部として、当センターのコーディネーターの高橋そよが、子どもたちに自分らしく生きることや、他人の考えを尊重することの大切さについて考える参加型ワークショップを行いました。続いて、第二部として、副センター長の小西照子准教授(農学部)が「植物は知っている?」と題し、子どもたちに科学の楽しさを伝える出前教室を行いました。

## 人権フェスティバル 平成26年1月18日(南風原町)、2月9日(久米島)

沖縄県南風原町と久米島でおこなわれた、平成25年度人権啓発講演会人権フェスティバル(主催:沖縄県 沖縄県人権啓発活動ネットワーク協議会)のトークセッション「男女共同参画について」へセンター長の喜納育江教授が参加し、県内で活躍する芸人の方々と「男らしく、女らしく」ではなく「自分らしく」生きることについて討論しました。



## テレビの取材を受けました 平成26年1月23日



平成26年1月23日(木)、本学の女性研究者支援について、当センターの紹介や、主要な取組である研究補助員配置制度を利用している研究者や理系女子(リケジョ)たちの研究室の様子などのTV取材(琉球放送株式会社「沖縄BON!!」)を受けました。

## 第1回 ワーク・ライフ・バランス講座 平成26年2月12日

### 「女性学:働く女のカラダを知る! 整える!」

仕事と生活の両立支援の一環として、教職員ならびに学生を対象に、ワーク・ライフ・バランス講座を開催しました。本講座では、井上紀子氏(神戸女学院大学教授)を講師に迎え、「女性学:働く女のカラダを知る! 整える!」と題して、女性がこころもカラダも健やかに生きること、そして、働く女性として自身の健康と向き合うことの大さについてお話いただきました。また、実践の一例として、上手に運動を生活に取り入れることのできる、ミニトランポリンを受講生全員で体験しました。



## 第2回 メンターワークショップ 平成26年2月17日



### 「効果的なコミュニケーション ～聞くコツ・伝えるコツ～」

教職員や大学院学生、メンターを対象に、メンタリング制度の周知と理解を深めることを目的とした「第2回メンターワークショップ」を開催いたしました。本ワークショップでは、柿沼良太氏(インサイトラーニング株式会社)を講師に迎え、メンター相談や日常生活にもいかせるコミュニケーションのコツについて、講義を受け、グループワークを行いました。